



2025年4月15日

各位

会社名 株式会社フリークアウト・ホールディングス
代表者名 代表取締役社長 Global CEO 本田 謙
(コード番号: 6094 東証グロース)
問合せ先 取締役 CFO 永井 秀輔
(TEL. 03-6721-1740)

オフィスの移転及び統合に伴う特別損失の計上及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は2024年11月14日に開示した2025年9月期(2024年10月1日~2025年9月30日)の通期連結業績予想数値を修正することとしましたので、お知らせいたします。

記

1. 修正の内容

(2024年10月1日~2025年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	EBITDA	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり当 期純利益
前回発表予想(A)	百万円 56,000	百万円 200~700	百万円 -	百万円 2,100 ~2,600	百万円 -	円 銭 -
今回の修正予想(B)	56,000	200~700	450 ~950	2,100 ~2,600	△450 ~50	-
増減額(B-A)	0	0	—	0	—	—
増減率(%)	0	0	—	0	—	—
(参考)前期実績 (2024年9月期)	51,711	1	366	1,775	△3,190	-

2. 修正の理由

当社は前回2024年11月14日発表した2025年9月期の連結業績予想において、同時点では為替の変動などその他の業績に与える未確定要素が多いため、通期の経常利益及び親会社に帰属する当期純利益について未定としておりました。

今般、営業外費用となるUUUM株式会社の完全子会社化のための手続に要した費用(第2回TOB及びスクイズアウトなど一連の手続に要した費用として約2億円)や、経営合理化を次の段階へ進めるため

の特別損失となるオフィス移転関連費用（約 4.5 億円）等、一部の未確定の費用が確定したため、経常利益及び親会社に帰属する当期純利益の予想値を測定しました。持分法利益は前回発表時と同じ 5.5 億円、法人税等は約 4 億円と見込みます。結果、これらの一時費用が大きく影響して 2025 年 9 月期の親会社に帰属する当期純利益は△4.5 億円～0.5 億円になる見込みです。一方で長期的には、オフィス統合によりオフィス賃料を年間約 2 億円弱削減できる見込みです。

なお、為替レートの変動については引き続き経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益の大きな変動要素として残りますが、今回発表の業績予想値はドル円レートを前期末（2024 年 9 月 30 日）時点の約 142 円水準から変わらないことを想定して算定しました。今後も引き続き、為替変動並びに国内外の景気動向により当社業績見通しの変動し、通期業績予想の修正が必要となった場合、速やかに開示する予定です。

（注）上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績等は今後発生する様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以上